

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 CarePlan リソース 診療方針指示情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“CarePlan”	CarePlan リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものを入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		この情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	情報 ID の文字列。値は例示。
3	status				1..1	code	"active"	<p>プランのステータス。</p> <p>コード表: "http://hl7.org/fhir/request-status"</p> <p>draft active on-hold revoked completed entered-in-error unknown など。</p> <p>案、有効、保留、取消、完了、エラー、不明</p>
	Intent				0..1	code	"plan"	<p>趣旨区分。</p> <p>コード表: "http://hl7.org/fhir/request-intent"</p> <p>proposal plan order option 提案 計画 指示 オプション</p> <p>紹介時方針では、内容によりいずれにもなりうるので、適切なコードを適宜選択して使用する。</p>
	category				0..1	CodeableConcept	"http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/careplan-category" "care-plan"	<p>プランのタイプ</p> <p>"care-plan"(診療プラン)</p>

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	title				1..1	string	“診療方針”	プランの標題名称。 “診療方針” 固定値。
	description				1..1	string		プランのサマリー。 紹介時方針”では、ここに具体的な内容を叙述的に記述する。
11	subject				1..1	Reference(Patient)		患者を表す Patient リソースへの参照。
	encounter				0..1	Reference(Encounter)		対象となる紹介先受診情報
	created				0..1	dateTime		このプランが最初に作成された日付
	author				0..1	Reference(Practitioner)		このプランの責任者情報への参照
	contributor				0..*	Reference(Practitioner PractitionerRole)		このプランの内容提供者情報への参照のリスト。当面未使用。
	careTeam				0..*	Reference(CareTeam)		このプランに関わるケアチーム情報への参照のリスト。当面未使用。